

2025年1月

学校法人東放学園
東放学園高等専修学校 殿

2024年度 学校関係者評価報告書

東放学園高等専修学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員

【関連業界関係者】

倉本 輝雄 株式会社サンミュージックプロダクション 常務取締役

【卒業生】

川口 はるか 漫画家

【教育、学校運営に関し知見を有する者】

渡辺 雅巳 株式会社ライセンスアカデミー 東日本教育事業部 部長

2. 事務局

清水 大樹	東放学園高等専修学校	校長
田辺 裕章	東放学園高等専修学校	教務教育部 部長
橋本 光一	東放学園高等専修学校	学務管理部 部長
米倉 寿雄	東放学園高等専修学校	入学広報部 部長
山田 未来	東放学園高等専修学校	教務教育部 学科主任
田塚 友弘	東放学園高等専修学校	入学広報部

3. 学校関係者評価委員会の開催状況

日時:2024年 9月17日(火) 14:00～16:00 意見交換会

場所:東放学園高等専修学校 5B教室

4. 学校関係者評価結果

※別紙のとおり

東放学園高等専修学校 学校関係者評価結果

【評定の内容】

- 4 : 適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後更に向上させるための意欲がある。
- 3 : ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 : 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 : 全く対応しておらず不適切である。学校の方針から見直す必要がある。

I. 重点目標について

重点目標1「科目の体系化、学習評価改善、学習(修得)目標の見える化と振り返りの充実」について

総 評	評定
科目名称の変更、ICTデバイス追加整備などシラバスの検証、環境整備を行っている。今後は更なるICT活用教育充実のため、更なる環境整備に期待したい。	4

重点目標2「入学から卒業までのDO率10%未満、3年次DOゼロを目指し、目的のないフリーターを発生させない」について

総 評	評定
生徒がどう変化していくかを察知するのは難しい。いろいろ壁にぶつかり、その目標が変わることも多い。その時は少しでも寄り添って、どうしてなのかを確認してほしい。そしてもう一度何故目指したのかを思い出させてほしい。 あまり厳しくすると学校に来なくなってしまう生徒もいると思うので塩梅が難しいと思うが、目的のないフリーターを発生させないという点では、もう少し厳しめに現実を教えてあげてほしいと思う。夢を追いかけるためだけの進学ではなく、何か資格が取れる専門学校など、軌道修正ができる進路も大切かなと思う。 保護者との連携強化のためアプリなどを活用し協力体制を実施している。また生徒の意識向上のためキャリア教育を行っている。1年次から進路に関する情報を提供していくことで、将来のキャリアを考える機会の提供に繋がり、目的意識を持った学校生活になる。また保護者の方へ進路情報を発信し、学校、家庭の連携をとり生徒をサポートする体制が必要と感じる。またメンタル面のケアをスクールカウンセラーを交えながら進めていくことが必要と思われる。今後更なる社会の多様化に合わせた進路指導・キャリア指導に期待したい。	3

重点目標3「渉外活動、WEB関連の強化、最適化を図り、入学者数48名以上を目指す」について

総 評	評定
年々少子化が進んでいるので、どうしたら1人でも多くの生徒に入学してもらえるかが大切である。SNSやHPはもちろん、アナログ的になるかもしれないが、歩いてでも多くの人にアプローチすることが大切だと思う。 中学教師もあまり勧めたがらないのが現実だと思う。普通の高校か専修学校かで迷っている生徒・保護者を説得するのは難しい気がする。ただ、あまり学校に馴染めなかったり、通信に行こうか迷っている生徒などに対してであれば、中学教師や保護者も提示しやすいのではないかと思った。 中学校総合学習の時間への講師派遣、広告媒体やイベントへの参加を通して広報活動をしている。また情報発信を強化しミスマッチをなくす活動をしている。他校との違い、学校独自の強みを生かした広報活動に期待したい。	4

II. 評価項目別取組状況について

基準1 教育理念・目的・育成人材像

総 評	評定
エンターテインメント業界の流れは本当に早い。流れを把握しつつ事業計画の見直しに取り組んでほしい。独自のシステムで生徒個々に対応しているので、それを進めてほしい。 エンターテインメント業界の人材育成に向けて教育理念に沿いながら、社会のニーズあわせて対応し人材輩出をしている。特にキャリアの視点において、進路指導、ライフプランの指導はとても大きな役割を果たすと思われる。また、毎年時代の変化に合わせた見直しを行っている。	4

基準2 学校運営

総 評	評定
<p>事業計画は年度の途中でもチェックや見直しはやるべきである。生徒支援としてシステム環境の安定稼働に努めることは良いと思う。</p> <p>事業計画を明確化し、運営方針に従い運営を行っている。情報システムに関してはセキュリティ対策への更なる対応も計画している。人事・給与制度も評価・働き方について見直しを行っている。</p>	4

基準3 教育活動

総 評	評定
<p>多様化する時代に合わせた見直しは必要だと思う。芸能の表舞台に行く人もいれば、一般就職や大学・専門学校への進学に変わる人もいると思う。常に聞き取り、その人たちへの資格習得を考えてあげているところは良いと思う。</p> <p>イラストコンテストやオーディションなど、一年に最低一回は受けるなど、ある程度の強制は必要ではないかと思う。1年生で受けなかったらきっと2年生でも受けないと思うし、どうすれば生徒のやる気が出るかは正直わからないと思うので、内輪だけでなく一歩外に出る練習も含め、根気よく生徒に受けるよう促してほしい。</p> <p>多様な卒業後の進路に対応すべく教育活動を行っている。近年の進路の多様化、入試制度は多種多様になり、毎年制度が変わる中で、教職員の先生の定期的な研修への参加等で最新情報の入手が求められる。授業評価アンケートを実施し、改善をしている。探究学習やSDGs学習についても取り組んでいる。</p>	4

基準4 学修成果

総 評	評定
<p>資格は自分の武器になるので、取れるならば取ってほしい。もちろん仕事へのチャンスも増える。卒業後、大学や専門学校に通う人も多くなっていると思うし、決して遠回りではないと思う。そして進路決定率が90%以上の高い目標の設定は良いことだと思う。各所と連携をとって実現してほしい。</p> <p>他のアーツは詳しくわからないので何とも言えないが、創作イラストアーツでは最近イラストレーター志望の生徒が圧倒的に多い印象なので、他のアーツでも一つにこだわらず専門職の先生方が生徒の視野を広げてあげてほしいと思う。</p> <p>資格取得を目標として体制を整備し、検定合格者を多数輩出していることはとても重要である。達成することにより自己肯定感を育むことに繋がる。目標資格を取得することにより、大学入試や就職の際にも有利になると思う。東放学園キャリアサポートセンターと連携した進路指導、オーディション指導などのサポート体制がある。</p>	4

基準5 学生支援

総 評	評定
<p>生徒のフォローは大切である。お金の問題や卒業後の進路など親身に対応してほしい。話しやすい環境づくりも常に意識しているのは良い。また全生徒の三者面談は相手の本音がわかるので毎年行って色々な悩みを吸い上げてほしい。</p> <p>どのくらいの頻度で進路相談会をしているかわからないが、3年のギリギリまで悩んでいる生徒が多い印象なので、進路相談会ごとに話が進むように誘導してあげてほしいと思う。</p> <p>クラスアドバイザー・進路指導担当者を中心に生徒を支援する体制が整っている。卒業生支援はとても魅力的で卒業生ネットワークを更に強化することにより、学園メリットが強化され、より一層の支援体制が整備され、多様な進路実現を提供できると思われる。2022年度より学園の卒業生組織TOHO会に加入している。</p>	4

基準6 教育環境

総 評	評定
<p>最近大きな地震が多発しているため、いつ我が身かではないが、注意と意識が必要である。当然先生方にも学内に限らず対応力を培ってほしい。突然には人は対応できないので、更なる対応力を身につけ最小限で受け止めてほしい。</p> <p>毎年難しいかもしれないが、アーツごとで舞台や展示などを見学するイベントなどがあつたらいいと思った。熱量に圧倒されて生徒のやる気が溢れてくれたらいいと思う。自分の足で出向いて体感して、何が良かったか悪かったかを考える時間が大切だと思う。</p> <p>毎年教育環境整備に取り組んでいる。防災セキュリティに関しても取り組みを強化している。また保護者との連携強化のための取り組みもしている。</p>	4

基準7 学生の募集と受入れ

総 評	評定
<p>学校をアピールしたうえで、どれだけの生徒が魅力を感じてくれるか、その方法を具体的にどうしたらよいか。例年増えていないのであれば、その方法を当然考えなければならない。</p> <p>中学校訪問や生徒募集広報にご尽力されたと感じる。中学校卒業時の進路選択の一つとしての認知度アップについては継続して行う必要がある。その中でSNSを利用した情報発信に期待したい。</p>	4

基準8 財務

総 評	評定
<p>収支のバランスは基本であり、キャッシュフローも企業としては大切である。やはり1人でも多くの生徒が入学してくれることが大事で、その上での収支計画もあるだろう。</p> <p>財務情報をホームページに公開し、わかりやすい表記に更新するなどしている。</p>	4

基準9 法令等の遵守

総 評	評定
<p>最近、個人情報が出ているというニュースが流れている。大切な情報はしっかりと管理してほしい。その部分では委員会等を設けて対応しているのは良いことだと思う。</p> <p>法令遵守に関する必要事項や対処について、適切に行っている。</p>	4

基準10 社会貢献・地域貢献

総 評	評定
<p>社会・地域貢献は、できる範囲でやれることをしたら良い。あまり無理に広げるのではなく、一体感を生み出すイベントを企画して交流を図ってほしい。コロナ対応が少しずつ緩和されたとはいえ、無理することなくやってほしい。</p> <p>ボランティア活動を奨励し、活動を支援している。今後は学校イベント、学園祭などで更なる地域との関わりや、ボランティア活動など、学校外での活動連携強化が必要である。</p>	4

所感

教職員の皆さんが生徒一人一人のことを考えてくれるのは非常にありがたい。卒業生の言葉は重い。そういう部分で、学んだ3年間に何が残るかということは当然大事だし、入学時も何かに興味をもって東放に入ろうということが一番大事なので、まず入口で何に興味を持たせるか。3年間で何かを築き上げるように作るのであれば、強制ではなく何に興味を持たせるか、持ってもらいか、選択肢を出し、生徒が興味を持ったものに対して寄り添ってあげるということも大事だと思う。私は芸能事務所の人間なので、この学校で育った生徒が弊社からデビューするのが一番嬉しいが、毎年オーディションにも呼んでいただき生徒さんを拝見しているので、そういう部分で何か連携できればそれが一番嬉しいと思う。生徒の皆さん一人一人を大切に思っていていただいて、様々な取り組みを考えてやってくださっていることをすごく感じた。

これは完全に個人的な気持ちだが、普通授業、選択授業含めて、やはり先生というよりも漫画家やダンサー等がメインだと思うので、生徒と一線を引いている方が多い印象だった。生徒から質問がくれば答える…という感じで対応している。干渉しすぎるのも問題だが、家庭環境が複雑で、他人の目線に敏感な生徒が多いのだと思う。それ故に完璧主義であったり、オーディションはもっと上手くなってからにしようなどと思ってしまうのではないかと思った。才能溢れる生徒に出会ってしまった時に、自分とは別世界の人だと思ってしまうたり、やりたくて入ったのに、そもそも自分への期待がないのはなぜなのかは、きっと本人にしかわからないと思う。個性的で自己表現力のある生徒が多いと思うが、一人一人と向き合ってあげてほしいなと思った。

少子化の中、年々生徒募集は苦勞していくことが予想される。その中で必要なのは、教育の質を強化し、生き生きとした卒業生を輩出することが、学校運営でとても大切である。またそれが学校の強みではないかを感じる。社会ニーズの変化や進路多様化への対応など、毎年の変化に対応していくことはとても大変だと感じるが、リスクを恐れず生徒のための改革を常に推進していただきたいと感じる。